

## Seminar on COCORO health science

4 units

Tsuneo Ninomiya · PROFESSOR / HEALTH SCIENCES, Masahito Tomotake · PROFESSOR / HEALTH SCIENCES

**Target)** (二宮担当内容) 支援は、お互いの信頼関係のもとに成り立つ。そのため  
の手段は、倫理とマナーを基本にした言葉でありコミュニケーション技能で  
ある。院内および地域とのケースカンファレンス、研究会、事例をもとにした  
ロールプレイをとおして子ども、家族、支援者などのコミュニケーション  
技能を高める。(友竹の担当内容) 精神保健領域で必要な心理的アプローチに  
ついて専門書や文献を通じて学習することを目的とする。具体的には認知行  
動療法や動機付け面接などの理論や応用について学習したり、精神保健領域  
と関連の深い精神疾患の心理的ケアや支援方法について学習する予定である。

**Outline)** (二宮担当内容) 事例を想定して、ロールプレイをとおして支援方法を  
学ぶ。院内および地域において実施されている支援のためのケースカンファ  
レンスや研究会に参加し、実践の場を知る。(友竹の担当内容) 精神保健領域  
におけるケアや支援に役立つ心理的アプローチについて、専門書や文献を用  
いて学習するとともに、実践的なスキルを身につけるために事例検討なども  
行う。

**Keyword)** 信頼, 傾聴, ト라우マ, ロールプレイ

**Notice)** 演習は実践そのものであると考え取り組んでほしい。

**Goal)**

1. (二宮担当内容) こころの問題の要因になっている核心部分に触れるような  
会話の流れを作ることができる。核心部分が明らかになったとき、そのこ  
とが改善できる対応ができる。家族、学校あるいは地域の支援者と話し合  
いを持つことができる。お互いの専門性を活かせるコミュニケーションの  
場を設定できる。
2. (友竹の担当内容) 心理的ケアや支援に必要な理論を習得し、実践に応用で  
きるようになること。

**Schedule)**

1. 1) 最初の出会いの時の対応-安心, 安定の気持ちを抱かせるためには-
2. 2) 傾聴の方法 (受容・共感的傾聴, 反復的傾聴, 具体的傾聴)
3. 3) 子ども, あるいは親との単独面接, 子どもと親との同時面接, 家族面  
接の基本
4. 4) 子どもの宇宙 (岩波書店) を読み, 面接に活かす。
5. 5~ 10) 初回から回復までの実際の面接 虐待, 摂食障害, 自傷行為, 不登  
校などを想定して, アイデンティティの確立をめざした発達モデルによ  
る心理技法についてロールプレイをとおして学ぶ。5~ 10) 初回から回復  
までの実際の面接 虐待, 摂食障害, 自傷行為, 不登校などを想定して,

アイデンティティの確立をめざした発達モデルによる心理技法について  
ロールプレイをとおして学ぶ。5~ 10) 初回から回復までの実際の面接

6. 11~ 15) 保健・福祉・教育機関など地域において実施されている支援のた  
めのカンファレンスに参加する。

7. 16) 試験

**Evaluation Criteria)** 予習の準備状況, ロールプレイの評価, レポートを総合し  
て評価する。

**Textbook)** なし

**Reference)** 看護学講座教員研究室 (二宮) にある図書をその都度紹介する。

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=216999>

**Contact)**

⇒ ninomiya@medsci.tokushima-u.ac.jp (Office Hour: 看護学講座教員研究室  
(二宮)(保健学B棟3階), 昼食時および17時~ 18時)